

# 令和2年度 誠英高等学校 学校評価書

令和3年4月20日

1. 学校教育目標	
校訓	至誠一貫 規律厳守 協同一致
教育方針	一人ひとりを大切にする教育実践。 確かな学力と柔軟な精神力を身につけ、たくましく社会を生き抜く力を育む。

2. 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)	
<p><b>学校経営</b> 学校教育目標を再認識し、目指すべき方向や課題を明確化、理解と周知徹底を図ることにより、一枚岩となった協力体制の構築が必要である。</p> <p><b>教育活動</b> 教授法において、教材研究の徹底とわかる授業実施に向けての工夫と研修に努める必要がある。 活動計画に基づいた実践が必要である。同時に、個に応じた指導と教員間の連携を密にする必要がある。 いじめにおいては、教員間の密な連携と早期の適切な対応の徹底が図られるようになった。 「清潔感あふれる学校」の充実に向け、清掃活動の徹底と習慣化を掲げた、教職員・生徒一体化した取り組みに努める必要がある。</p> <p><b>運営組織</b> 分掌の見直しと組織の再編、教職員間での幅広い職務の経験と研修が可能な体制を構築する必要がある。</p> <p><b>教育環境</b> 情報環境整備において、ICT環境の充実に係る評価が向上した。 教職員のストレス改善が教育環境改善に大きなウエイトを占めることを強く認識しなければならない。</p> <p><b>開かれた学校づくり</b> 育友会総会、保護者会等への出席率が伸びない反面、活動に協力的・意欲的な保護者も多いということを認識しなければならない。 ボランティア活動の実施と周知、地域との交流、地域文化への理解と協力が必須である。</p> <p><b>生徒の教育効果</b> 生徒の社会性、自主性、責任感、規範意識向上の育成を目指し、粘り強い指導が必要である。</p>	

3. 本年度重点を置いて目指す成果・特色・取り組むべき課題（努力すべき目標）	
1 学習指導	基礎学力の不足を補う工夫と適切な授業展開と評価。 授業展開の工夫と他教科との連携の構築。 ICT環境整備に基づく、オンライン授業等の展開と充実。
2 生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識・ルール・マナーの向上。 いじめや偏見に対する適切な対応と教職員間の共通理解の徹底。
3 進路指導	進路指導の早期取り組みと個の希望に応じた適切な指導。 コロナ禍における適切な指導とキャリア教育の充実。
4 特別活動	部活動の活性化と地域ボランティア活動・奉仕活動の推進。 生徒主体の活動推進と協力体制の構築。
5 業務改善	広報・生徒募集活動の充実と働き方改革の促進。 ITC環境整備に基づく業務の簡素化及び合理化とコロナ禍への対応。

4. 自己評価						5. 学校関係者評価	
評価領域	重点目標	具体的方策(実践活動)	評価基準	達成度	達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見等	評価
学習指導	基礎学力の不足を補う工夫と適切な授業展開と評価	学科・コース・専攻等の特性に応じた学習指導の展開	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.1	○概ね実践できている。 ○学科等の違いによって能力差が大きく興味関心を持たせるまでの努力と工夫が必要。 ○年々支援を要する生徒が増えている。	○ウイズコロナへの対応が出来ていると感じた。 ○研究授業等への取り組みが低いのが気になる。 ○コロナの影響を最小限に抑えたことは高く評価できる。 ○教育モニターを導入しては、 ○研修会・教育大会への積極的参加を。 ○各教育機関との交流を図る。 ○学び直しのチャンスのある環境作りを大切にしたい。 ○コロナ禍での家庭学習の取り組みに素早く対応できたことは高い評価に値する。	A
		学び直しと学習能力に応じた適切な指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3	○概ね実践できている。 ○いざというときに進捗表内容の情報共有が可能な体制作りが必要。 ○教科の枠を超えた学び直しが求められる。		
	授業展開の工夫と他教科との連携の構築	適切な授業評価の実施と評価の効果的な活用	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.8	○オンラインシステムでの授業評価を展開した。改善を要する部分もあるが、スムーズに集計出来た。 ○個々の反省とその効果に期待したい。		B
		教科の枠を超えた研究授業とより効果的な教授法・指導法の探究	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.3	○他教科の授業も参考にスキルアップが必要である。 ○コロナ禍で実技授業等に関しては密を避ける為に現場での実践が伴わなかった。		
	ICT環境整備に基づくオンライン授業等の展開と充実	コロナ禍における適切な学習指導の展開	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.2	○コロナ禍ではあったが、工夫を凝らした授業展開が実践された。 ○新学習指導要領全面実施に向け、各教科ごとの研修会への積極的参加が必要。		A
		ICTを活用したオンライン授業等の運用と展開	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.3	○大幅に実践できるようになった。 ○ICTの活用と施設・設備の整備の改善により、幅を広げた実践が可能となった。		
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識・ルール・マナーの向上	校則の正しい理解と運用	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.1	○概ね実践できている。 ○時代の変化に対応し校則の見直しと、臨機応変な対応も必要。 ○コロナ禍に対応した取り組みも必要。	○安定しているという印象を受けた。 ○いじめに関する協議の機会を設けたことが大きい。 ○「規律厳守」への指導成果が表れている。 ○コロナ禍の中でルール・マナー指導が行えたことは高く評価できる。 ○いずれも達成度が高く、成果が感じられる。 ○高校生活で挨拶、礼儀を身に付けておくことはとても大切。	A
		挨拶、言葉遣い、礼法、清掃活動の指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3	○概ね実践できている。 ○教職員も含め、学校全体で挨拶、言葉遣い等で常に振り返りを行うことが必要。		
	規範意識と校外でのマナー向上の指導	規範意識と校外でのマナー向上の指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.1	○概ね実践できている。 ○校内外での生活マナー向上と改善には常に継続的に地道な指導が必要。		A
		集団生活のマナーに関する指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.1	○概ね実践できている。 ○定期的な指導の定着により、大きな乱れは見受けられない。 ○コロナ禍で全体指導が実践できなかった。		
	問題行動への適切な対応と教職員の共通理解の徹底	特別指導への適切な対応と事後指導の徹底	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3	○概ね実践できている。 ○特別指導対象生徒数は減少傾向だが、通信機器を使った事案が多くなった。 ○3年次後半での指導の見直しが必要。		A
		いじめの防止、早期発見、迅速対応、適切な措置の徹底	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.1	○よく実践できている。 ○定期的にいじめに関する協議の機会を設けたことにより教員間での連携が密になってきた。		

評価領域	重点目標	具体的方策(実践活動)	評価基準	達成度	達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見等	評価
進路指導	進路指導の早期取り組みと学年や希望に応じた適切な対応	年次指導による段階的・系統的な指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3	○コロナ禍である中、可能なことを選択する過程で新しい試みも実践できた。	○コロナ対応が適切であったように思う。 ○活動制限の中で、しっかり対応できている。この経験を生かしてもらいたい。 ○進学・就職両面で多様な進路選択への可能性を探っていくことが大切。 ○志を高く持って早い段階での指導が大切。	B
		企業や大学等との連携、保護者を交えた指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.7	○コロナ禍の影響から外部との接触制限等により可能なことのみ実践できた。		
		個別面談、面接指導、論文指導、事後指導等、細やかな指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3	○概ね実践できた。 ○企業や学校等からの資料・情報の収集に敏感に対応できた。 ○保護者への情報提供の充実化が望まれる。		
		コロナ禍における適切な進路指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.9	○コロナ禍であるがゆえに出来たこともあり、今後指導のきっかけや取り組み方にも影響があったものと思われる。		
		キャリア教育に関する指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.8	○ベテラン教員からの指導が幅広く実りつつある。 ○教科指導、学級活動の中にも幅広く取り上げることも必要と思われる。		
特別活動	部活動の活性化と地域ボランティア活動・奉仕活動の推進	生徒への積極的な参加の呼びかけ	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.7	○活動が制限される中で意欲を失わずに前向きによく取り組めたのではないかと。 ○ボランティアの取り組み自体をどのように周知すべきかが課題である。	○部活単位でのボランティア参加が効果的であろう。 ○私学にとって部活動は特色づくりに欠かせないものである。 ○校庭から聞こえる大きな声に元気をもらっている。 ○活動制限がある中で、やむを得ないことが多かったと思われる。 ○高校生活の思い出や本校の特色となる生徒主体の活動が充実している。 ○コロナ禍で思うような活動が出来なかったため、生徒は不完全燃焼で残念であろう。	B
		指導計画や目標に基づいた指導と展開、向上を促す	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.9	○計画通りに展開できなかったが、可能なことにチャレンジし、より工夫を凝らした内容が実践できたのではないかと。		
		集団活動を通じて規律やマナーの習得を目指した指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.7	○特別活動でしか得られない充実感や達成感、集団活動の中で学んでいく事柄を認識し、様々な活動を通じて取り組めるよう努めるべき。		
	生徒主体の活動推進と協力体制の構築	生徒会を中心とする諸活動の企画・運営の充実	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.8	○コロナ禍の中でよく実践できた。 ○新しい企画としてのピカピカクラスマッチやクラスマッチ新種目等が好評であった。		B
		クラスや学年・科の枠を超えた活動と協力を図る	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.4	○科・コースの特性を生かした取り組みや連携の強化がなされるとよい。		
		学校行事等の計画的な企画、運営、反省の実施	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.7	○ほとんどの学校行事が中止や変更となり、評価出来なかったのが実情である。		
その他	広報・生徒募集活動の充実と働き方改革の促進	広報活動、生徒募集活動の計画的な企画、運営	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.6	○あまり実践できていない。 ○生徒募集活動においては、今後大きな課題として速急に取り組まねばならない必要がある。	○インターネットの推進促進を。 ○他校の視察促進を。 ○教職員と、卒業生、保護者、学校関係者との交流を密に。(オンラインを通じて) ○評価委員の学校訪問や授業参観等の計画を。 ○通信制を含む諸学科の多様性が誠英高校の魅力である。 ○誠英の特性をさらに地域に発信し認めてもらう取り組みが必要。	C
		教育活動全般を通じ、校訓の理念と精神への指導	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.4	○あまり実践できていない。 ○月頭訓話等での意識付けを促す機会を設けられなかった。 ○100周年に向けて改めて取り組む必要がある。		
		働き方改革、ハラスメント行為撲滅に係る取り組みはなされたか	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.2	○あまり実践できていない。 ○教職員個々の意識改善と、よりよい職場環境の構築に向けて改善が必要である。		
	ICT環境整備に基づく業務の簡素化及び合理化とコロナ禍への対応	校内ICT施設・設備の充実と改善	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	3.2	○大幅に改善できた。 ○教職員、生徒がどのように活用し、さらに有効活用するための研修会等の開催が必要。		B
		コロナ禍における校内での適切な健康・衛生管理	4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.8	○衛生管理委員会を定期的に実施し、個々及び学校全体の意識の高揚に期待したい。		
コロナ禍における保護者・外部への対策と適切な対応		4. 実践できた。 3. ほぼ実践できた。 2. あまり実践できなかった。 1. 実践できなかった。	2.9	○保護者・生徒との連絡ツールが整い、緊急連絡や連絡周知の徹底がなされるようになった。			